

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成30年10月11日 (2018.10.11)

【公表番号】特表2017-538605(P2017-538605A)

【公表日】平成29年12月28日 (2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-050

【出願番号】特願2017-530329(P2017-530329)

【国際特許分類】

B 3 2 B 33/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/34 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/28 (2006.01)

B 2 9 C 47/06 (2006.01)

B 6 5 D 77/04 (2006.01)

【 F I 】

B 3 2 B 33/00

B 3 2 B 27/34

B 3 2 B 27/00 H

B 3 2 B 27/28 1 0 1

B 2 9 C 47/06

B 6 5 D 77/04 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年8月29日 (2018.8.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

応力によって引き起こされる裂け目の形成に対して抵抗性のあるライナーであって、
液体を保持可能なライナーに形成されるフィルムを含んでおり、前記フィルムが、
ガスに対する第 1 のバリア層と、
前記ガスに対する第 2 のバリア層と、
前記第 1 のバリア層と前記第 2 のバリア層との間に介在的に配置された少なくとも 1 つ
の追加の材料の層と
を備え、

第 1 のバリア層及び第 2 のバリア層のそれぞれが、ポリアミド、ポリエチレンテレフタ
レート (P E T)、非結晶性ポリエチレンテレフタレート (A P E T)、グリコール変性
ポリエチレンテレフタレート (P E T G)、ポリエチレンナフタレート (P E N)、ポリ
クロロトリフルオロエチレン (P C T F E 又は P T F C E)、環状オレフィン系共重合体
(C O C)、液晶ポリマー (L C P)、エチレンビニルアルコール (E V O H)、及びポリ
塩化ビニリデン (P V D C) からなる群から選択される材料からなり、

少なくとも 1 つの追加の材料の層が、無水マイレン酸 改質 P E、低密度ポリエチレン
(L D P E)、メタロセンポリエチレン (m P E)、及び直鎖状低密度ポリエチレン (L
L D P E) からなる群から選択される材料からなる、ライナー。

【請求項 2】

応力によって引き起こされる裂け目の形成に対して抵抗性のあるライナーであって、イ

ンターフェース、第 1 の最内層、第 2 の最内層、第 1 の介在層、第 2 の介在層、第 1 のバリア層、第 2 のバリア層、第 3 の介在層、第 4 の介在層、第 1 のクラッド層、及び第 2 のクラッド層を有するフィルムを含んでおり、

第 1 の最内層及び第 2 の最内層のそれぞれが、メタロセンポリエチレン (m P E)、直鎖状低密度ポリエチレン (L L D P E)、エチルビニルアセテート及びこれらのブレンドからなる群から選択される材料からなり、

第 1 のバリア層及び第 2 のバリア層のそれぞれが、ポリアミド、ポリエチレンテレフタレート (P E T)、非結晶性ポリエチレンテレフタレート (A P E T)、グリコール変性ポリエチレンテレフタレート (P E T G)、ポリエチレンナフタレート (P E N)、ポリクロロトリフルオロエチレン (P C T F E 又は P T F C E)、環状オレフィン系共重合体 (C O C)、液晶ポリマー (L C P)、エチレンビニルアルコール (E V O H)、及びポリ塩化ビニリデン (P V D C) からなる群から選択される材料からなり、

第 1 の介在層、第 2 の介在層、第 3 の介在層及び第 4 の介在層のそれぞれが、ポリエチレンからなり、

第 1 のクラッド層及び第 2 のクラッド層のそれぞれが、直鎖状低密度ポリエチレン (L L D P E)、フルオロポリマー及びこれらのブレンドからなる群から選択される材料からなり、

前記第 1 の最内層及び前記第 2 の最内層が、互いに接触し、前記インターフェースを画定し、

前記第 1 の介在層が、前記第 1 の最内層と前記第 1 のバリア層との間に配置され、前記第 1 のバリア層が、前記第 1 の介在層と前記第 3 の介在層との間に配置され、

前記第 1 のクラッド層が、前記第 3 の介在層の外側に配置され、

前記第 2 の介在層が、前記第 2 の最内層と前記第 2 のバリア層との間に配置され、前記第 2 のバリア層が、前記第 2 の介在層と前記第 4 の介在層との間に配置され、且つ前記第 2 のクラッド層が、前記第 4 の介在層の外側に配置される、ライナー。

【請求項 3】

前記第 1 のバリア層及び前記第 2 のバリア層が、ガスに対して同一であるガス透過性を有しており、前記ガス透過性が、前記ガスに対して、0 . 1 から 1 0 c c ミル / 1 0 0 平方インチ / 日である、請求項 1 に記載のライナー。

【請求項 4】

オーバーバックと、請求項 1 に記載のライナーとを含む、ライナーベースシステム。

【請求項 5】

応力によって引き起こされる裂け目の形成に対して抵抗性のあるライナーを製造する方法であって、

複数の層を有する壁を含む管状構造体を共押出することであって、前記壁が、前記複数の層の最内層と、前記最内層を囲むバリア層とを含み、前記バリア層が、ガスに対するバリアを設ける、共押出することと、

前記最内層がそれ自体にインターフェースにおいて接触し、前記インターフェースの周りで前記複数の層の鏡像を有するシート材料が画定されるように、前記管状構造体を疊むことであって、前記シート材料が、2 つのバリア層の間で捕捉された 2 つの最内層を設ける、疊むことと、

前記シート材料を、液体を保持可能なライナーに形成することとを含み、

最内層が、メタロセンポリエチレン (m P E)、直鎖状低密度ポリエチレン (L L D P E)、エチルビニルアセテート及びこれらのブレンドからなる群から選択される材料からなり、

バリア層が、ポリアミド、ポリエチレンテレフタレート (P E T)、非結晶性ポリエチレンテレフタレート (A P E T)、グリコール変性ポリエチレンテレフタレート (P E T G)、ポリエチレンナフタレート (P E N)、ポリクロロトリフルオロエチレン (P C T F E 又は P T F C E)、環状オレフィン系共重合体 (C O C)、液晶ポリマー (L C P)

、EVOH、及びポリ塩化ビニリデン（PVC）からなる群から選択される材料からなる、方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0025

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

[0033] バリア層22及び24に適しており、且つ中程度の酸素透過性を有する材料には、限定されないが、ポリアミド、ポリエチレンテレフタレート（PET）、非結晶性ポリエチレンテレフタレート（APET）、グリコール変性ポリエチレンテレフタレート（PETG）、及びポリエチレンナフタレート（PEN）が含まれる。バリア層22及び24に適しており、且つ酸素透過性が低い材料には、限定されないが、ポリクロロトリフルオロエチレン（PCTFE又はPTFCE）、環状オレフィン系共重合体（COC）、液晶ポリマー（LCP）、EVOH、及びポリ塩化ビニリデン（PVC）が含まれる。